

1回も

着用していない服は ありませんか？

ファッション産業では、ファストファッションの流行により、短いライフサイクルの中で**大量生産・大量消費・大量廃棄**が行われ、製造にかかる資源やエネルギー使用の増加などから環境負荷が非常に大きい産業と指摘されています。

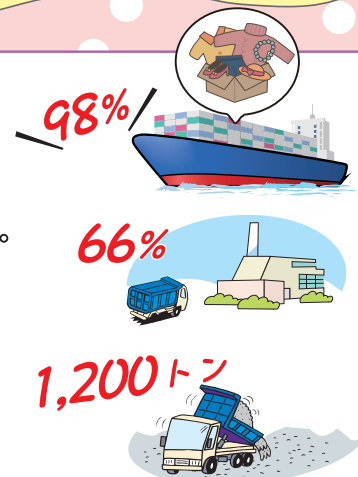
また、南米やアフリカ、アジア諸国に世界から大量の中古衣料が輸出され、処理されずに不法投棄され、**国際的な課題**となっています。そこで、注目されている取り組みが、**サステナブルファッション**です。

サステナブルファッションとは？

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みのことを言います。

洋服にまつわる数字

- ☑ 日本で売られている洋服の98%は海外から輸入されたものです。
大量のエネルギーを使って、日本に運ばれてきます。
- ☑ 廃棄される洋服の66%が清掃工場に運ばれ、焼却・埋め立てされています。
そして15%がリサイクルされ、残りの19%がリユース（海外輸出含む）されています。
- ☑ 1日あたり日本全国で焼却・埋め立てされている衣服の量です。
10トントラック120台分の衣服が毎日廃棄されています。



今日からできる サステナブルファッション

今持っている服を大切に着る

現在よりも1年長く着ることで、日本全体として3万t以上の廃棄量の削減に繋がります。



本当に必要なか考える

購入して1回も着ていない服はありませんか？
1年間1回も着られていない服が一人あたり35着もあります。
買わないことも選択肢です。



服を資源として再活用しよう！

多くの自治体が古着を資源として回収しています。その後、回収業者によって、国内外で再利用されます。服1着が回収によりごみとして廃棄・焼却されなければ、約0.5kgのCO₂が削減されます。



参考：環境省